

日本外務省は、ブラジルに対する渡航情報(スポット情報:2014年FIFAサッカーワールドカップ・ブラジル大会開催に伴う注意喚起)を発出し、「海外安全ホームページ」に以下のとおり掲載しましたので、お知らせいたします。

(以下渡航情報(スポット情報:ブラジル:2014年FIFAサッカーワールドカップ・ブラジル大会開催に伴う注意喚起))

ブラジルでは、6月12日から7月13日まで2014年FIFAサッカーワールドカップ・ブラジル大会が開催される予定です。

世界的なイベントである同大会には世界各国から多くの人々が訪問することが予想されていますが、ブラジルでは世界的に見ても非常に高い頻度で一般犯罪が発生していますので、観戦等でブラジルに渡航・滞在する予定の方は、以下を参考にして安全対策に万全を期してください。

1. ブラジルの治安

(1) 犯罪発生状況

ア 全般

ブラジルは世界的に見ても非常に高い頻度で一般犯罪が発生しており、麻薬に絡む組織的な犯罪も多発しています。これらの犯罪の手口は凶悪で、多くの犯行にけん銃等の銃器が使用され、抵抗すると危害を加えられるおそれがあります。特に強盗、短時間誘拐、窃盗、スキミングの被害が多発しているため、これらの犯罪には十分注意が必要です。観光地の美しい場所でも凶悪犯罪が多発しているため油断は禁物です。また、ファベラと呼ばれる貧民街は犯罪の発生率が特に高く非常に危険です。2013年のFIFAコンフェデレーションズカップ開催期間中には主要都市で大規模デモが発生し、参加者の一部が暴徒化して略奪や破壊行為が行われ、死傷者も発生しました。デモの情報がある地域には決して近づかず、万が一デモに巻き込まれた場合は、速やかにその場を離れてください。

このような日本とは異なるブラジルの治安状況を認識し、十分な予防対策をとる心構えが安全・安心なワールドカップ観戦には欠かせません。

イ 強盗

ブラジルで最も注意しなければならない犯罪の一つで、例年日本人も多数被害にあっています。また、強盗事件の多くにけん銃等の銃器が使用され、抵抗すると危害を加えられるおそれがあります。一般的に都市部において強盗被害に遭う確率は、米国と比較しても約10倍、あるいはそれ以上と言われており、十分に注意しなければなりません。歩行中や公共交通機関内でも被害に遭うことが多く、特にキャッシュコーナーで現金を引き出した後やショッピングセンターなどから出た後に狙われやすいので、注意する必要があります。

ウ 短時間誘拐

ブラジルでは「短時間誘拐」が頻発しています。これは、金品や車両を強奪するためにけん銃等を使って脅迫し、被害者を一時的に拘束する犯罪です。拘束後は、ATM

で現金を引き出させたり、携帯電話や車両を奪った後に連絡手段のない市街から離れた場所で解放するのが特徴です。車の乗降時及び停車時にねらわれやすいので、常に周囲の状況を確認し、不審者がいないか注意してください。

エ 窃盗

歩行者を狙ったひったくりや人混みでのスリが多発しています。特に空港やホテルのロビー等で観光客を狙ったスリや置き引きが多発しているため注意する必要があります。

オ スキミング

空港や観光地のＡＴＭ使用時や買い物・食事での使用時にカードの磁気情報を不正に読み取られ、偽造カードで口座の現金が引き出されるスキミング被害が多発しており、多くの日本人が被害に遭っています。必ず目の前でカード精算を行い、控えを保管し、後日カード会社からの明細書を確認するようにしてください。

(2) 防犯対策

ア 心構え

行動計画を立てる際には、犯罪やデモの発生等の最新の治安情報を入手し、危険を回避することが大切です。また、常に警戒・用心を怠らず、時間・場所・周囲の状況を考慮して行動する必要があります。

イ 外出時

外出時には以下の点に注意する必要があります。

- ・単独行動はしない。
- ・夜間の外出は控える。
- ・ひと気のない所は避ける。
- ・目立たない服装を心掛け、貴重品は最小限にして分散所持する。
- ・カメラやスマートフォンは極力人目に付かないよう心掛ける。

ウ 移動

・タクシー

ブラジルでは正規のタクシーを利用する移動が比較的安全です。正規のタクシーを利用する場合は無線タクシーを呼ぶか、ホテルやタクシー乗り場に待機中のタクシーを利用してください。流しのタクシーやタクシー営業用の赤ナンバープレートが付いていない非正規タクシーは、犯罪に巻き込まれる可能性が高いので絶対に利用しないでください。

タクシーの乗り方：タクシー乗車の際はメーターが稼働している事を確認してください。タクシーメーターに料金が表示されていない場合は、速やかに運転手に指摘し、それでも稼働させない場合は、危ないので人通りが多い所で速やかに下車して下さい。なお、タクシーは夜間時以降、土曜日の午後、日曜祭日は割増料金が設定されます。

・地下鉄

混雑時のスリ、乗車口付近での発車間際のひったくり等に注意してください。駅の出入口付近は、強盗事件が頻繁に起こっているので十分な注意が必要です。

・徒歩

強盗、短時間誘拐、ひったくり等の犯罪に巻き込まれる可能性が高いため徒歩での移動は極力控えてください。

・バス

車内での強盗事件が多発しているため利用は避けてください。特に長距離バスは夜間の強盗事件が頻発しています。

エ 宿泊

ワールドカップ期間中はどの宿泊施設も大変混雑するので、宿泊先は出発前に必ず予約してください。様々な形態やレベルの宿泊施設がありますが、安宿は保安上問題がある場合もあるため、十分注意する必要があります。また、日本のホテルと異なり、高級ホテルも含め、歯ブラシやスリッパ等が用意されていない場合が多いため、注意してください。

比較的高級なホテルでも、ホテル内レストラン、ロビー等でスリや置き引きの被害が発生しています。所持品からは目を離さないでください。

オ 被害に遭った場合の措置

強盗や短時間誘拐に遭遇した場合、犯人は多くの場合けん銃等の銃器を所持しており、抵抗すると命に関わる危害を加えられる恐れもあるため、絶対に抵抗してはいけません。また、慌てて財布を取り出そうとして上着のポケットに手を入れたりすると、逆に武器で反撃されると犯人が誤解し、攻撃される可能性があるため、不用意な行動は禁物です。落ち着いて、ゆっくりとした動作で犯人の指示に従ってください。

現金・貴重品等の被害に遭った時には、所轄の文民警察（POLICIA CIVIL）に通報してください。その際、調書作成後に盗難証明書（被害届の受理証）が発行されます。この証明書は、貴重品等に保険がかかっている場合に保険会社に対し請求を行う際や、トラベラーズチェックが盗まれたことを銀行に届け出る際等に必要となります。万一に備え、海外旅行傷害保険に加入しておくことをお勧めします。

（3）その他

在ブラジル日本国大使館、各総領事館による FIFA ワールドカップ・ブラジル大会についての総合案内サイト (<http://wcup2014brazil.blogspot.com.br/>)、ブラジルについて発出している危険情報

(<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo.asp?id=259#ad-image-0>) 及び安全対策基礎データ

(<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure.asp?id=259>) 等も併せて参照してください。

2. 日本戦の各開催地における治安状況

（1）レシフェ

ア 概要

レシフェ市の所在するペルナンブコ州の犯罪発生件数は、日本と比較した場合、殺人が43倍、強盗が約200倍となっています。特にレシフェ都市圏では犯罪が多発しており、その犯罪発生率はブラジル全土でも上位となっています。市内では依然として拳銃を使用した凶悪犯罪が後を絶たちません。

イ 特徴

レシフェでは貧しい人々が住む貧民街が市内に点在しており、違法薬物の売買や強盗などの犯罪の温床となっています。誤って貧民街に迷い込むことのないよう徒歩での移動は絶対に避けてください。また、レシフェ旧市街などでは人通りの多い商業地区でも警察と強盗団の銃撃戦が昼夜問わず発生しており、流れ弾で多くの市民が死傷し

ています。観光地でも、けん銃等を用いて、観光客を狙う強盗事件が多発しており注意が必要です。

(2) ナタル

ア 概要

ナタルの所在するリオグランデドノルテ州は、ブラジルの他の地域と比較すると犯罪発生率は低い状況にありますが、日本と比較した場合、殺人が31倍、強盗が157倍であり、年々増加傾向にあるため注意が必要です。

イ 特徴

旧市街地等の街中では強盗・窃盗等の犯罪が発生しています。リゾートホテルが建並ぶ海岸線付近の治安は比較的安定していますが、メン・ルイーザ灯台やヘイス・マーゴス要塞などの観光名所で旅行者が被害にあうスリやひったくりが多発しており注意が必要です。また、外出中のホテル客室が荒らされて金品を盗まれるなどの事件も多発しています。

(3) クイアバ

ア 概要

クイアバ市においては、サンパウロ、リオデジャネイロ等の大都市と同じく強盗・窃盗などの犯罪が昼夜を問わず頻繁に発生しています。殺人及び強盗事件について、クイアバ都市圏では、日本の犯罪率を比較すると、殺人が約51倍、強盗が約404倍となっており、日本とは比較にならないほど危険度が高いことを認識する必要があります。

イ 特徴

夜間は人通りが少なくなり、街灯が少なく街全体が暗いことから、強盗事件が昼間に比べて多く発生しています。また、中心部から離れれば離れるほど道は暗くなり治安は悪くなります。

クイアバ市の所在するマトグロッソ州はボリビアとの国境地帯を含んでおり、違法薬物の密輸入が行われています。クイアバにも薬物中毒者が生活しており、薬物を買うために強盗や窃盗を敢行していますので注意してください。

クイアバの隣市ヴァルゼア・グランデ市は、クイアバに旅行するほとんどの人が利用する国際空港が所在し、特に強盗事件の発生が多発しています。空港からホテルやスタジアムに向かう際は正規のタクシーなどの信用できる交通機関を利用し、空港周辺を徒歩で散策するようなことはしないでください。

クイアバの殺人事件の発生率は、サンパウロに比べて高くなっています。薬物売買に関わる抗争や家族や知人同士のけんかが原因である場合が多く、中には強盗の被害者が犯人に抵抗したり逃走をしたりして射殺される事件もあります。

(問い合わせ窓口)

○外務省領事サービスセンター

住所：東京都千代田区霞が関 2-2-1

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 2902、2903

(外務省関係課室連絡先)

○外務省領事局海外邦人安全課(テロ・誘拐関連を除く)

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 2306

○外務省領事局邦人テロ対策室（テロ・誘拐関連）

電話：（代表）03-3580-3311（内線）3399

○外務省 海外安全ホームページ：<http://www.anzen.mofa.go.jp/>
<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>（携帯版）

（現地大使館等連絡先）

※ブラジル国内からの通話は、市外局番（国番号（55）の後の2桁の番号）の前に「021」をつけてください。また、同一州内からの通話については市外局番をつける必要はなく、「3」からはじまる8桁の番号にかけてください。

○在ブラジル日本国大使館

住所：SES Avenida das Nacoes Q811, Lote 39, 70425-900, Brasilia, D. Federal, Brasil

電話：（市外局番 061）3442-4200

国外からは（国番号 55）-61-3442-4200

FAX：（市外局番 061）3242-0738

国外からは（国番号 55）-61-3242-0738

ホームページ：<http://www.br.emb-japan.go.jp/nihongo/index.html>

○在サンパウロ日本国総領事館

住所：Avenida Paulista 854, 3-andar, 01310-913, Sao Paulo, SP, Brasil

電話：（市外局番 011）3254-0100

国外からは（国番号 55）-11-3254-0100

FAX：（市外局番 011）3254-0110

国外からは（国番号 55）-11-3254-0110

ホームページ：<http://www.sp.br.emb-japan.go.jp/jp/index.htm>

○在リオデジャネイロ日本国総領事館

住所：Praia do Flamengo, 200-10 andar, 22209-901, Rio de Janeiro, RJ, Brasil

電話：（市外局番 021）3461-9595

国外からは（国番号 55）-21-3461-9595

FAX：（市外局番 021）3235-2241

国外からは（国番号 55）-21-3235-2241

ホームページ：<http://www.rio.br.emb-japan.go.jp/nihongo/index.html>

○在レシフェ出張駐在官事務所

住所：Rua Padre Carapuceiro, 733, 14-andar, Edf., Empresarial Center I, Boa Viagem, 51020-280, Recife, Pernambuco, Brasil

電話：（市外局番 081）3207-0190

国外からは（国番号 55）-81-3207-0190

FAX：（市外局番 081）3465-9140

国外からは（国番号 55）-81-3465-9140

ホームページ：<http://www.br.emb-japan.go.jp/nihongo/recife.html>

○在クリチバ日本国総領事館

住所：Rua Marechal Deodoro, 630, Edificio CCI, 18-andar, 80010-912 Curitiba, Parana, Brasil

電話：（市外局番 041）3322-4919

国外からは（国番号 55）-41-3322-4919

FAX：（市外局番 041）3222-0499

国外からは（国番号 55）-41-3222-0499

ホームページ：http://www.curitiba.br.emb-japan.go.jp/index_j.html

○在ポルトアレグレ出張駐在官事務所

住所：Avenida Joao Obino, 467, Petropolis, 90470-150, Porto Alegre, Rio Grande do Sul, Brasil

電話：（市外局番 051）3334-1299

国外からは（国番号 55）-51-3334-1299

FAX：（市外局番 051）3334-1742

国外からは（国番号 55）-51-3334-1742

ホームページ：http://www.curitiba.br.emb-japan.go.jp/poa_j.html

○在ベレン領事事務所

住所：Avenida Magalhaes Barata, 651, Edificio Belem Office Center, 7-andar 66060-281, Belem, Para, Brasil

電話：（市外局番 091）3249-3344

国外からは（国番号 55）-91-3249-3344

FAX：（市外局番 091）3249-1016

国外からは（国番号 55）-91-3249-1016

ホームページ：<http://www.belem.br.emb-japan.go.jp/pt/jp/index.html>

○在マナウス日本国総領事館

住所：Rua Fortaleza, 416, Bairro Adrianopolis, 69057-080, Manaus, Amazonas, Brasil

電話：（市外局番 092）3232-2000

国外からは（国番号 55）-92-3232-2000

FAX：（市外局番 092）3232-6073

国外からは（国番号 55）-92-3232-6073

ホームページ：<http://www.manaus.br.emb-japan.go.jp/>